子ども農山漁村交流プロジェクトセミナー

~ 子供たちのために!農山漁村の未来のために! ~

"子ども農山漁村交流プロジェクト"は、人口減少時代における喫緊の課題である『地方創生』の関連施策として位置付けられており、子供たちの生きる力を育む機会の提供が送り側の自治体や学校の魅力づくりにつながるほか、フィールドとなる受入地域の良さの再発見や活性化にも寄与するものと考えられます。

今回、各自治体等による取組をさらに推進していただくため、教育効果に関する特別講演、先進地域・学校の取組事例の発表などを元に、学校と地域が協働で取り組む重要性、受入地域としての課題解決の方向性を考える契機とするため、セミナーを開催します。

記

〒 程 平成27年2月25日(水)10:30~16:30(受付開始10:00)

会 場 エッサム神田ホール3階大会議室(東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2)

【会場の最寄り駅からのアクセス】

- ① JR 神田駅 東口 徒歩 1 分
- ② 東京メトロ銀座線 神田駅 3番出口前 http://www.essam.co.jp/hall/access/

主 催 総務省、文部科学省、農林水産省、環境省

共 催 (一社)全国農協観光協会

参加対象 行政職員、学校教職員、教育委員会、受入地域 協議会、PTA、NPO関係者、地域づくりや 教育に関心のある方等

参加費用 無料

募集人数 70名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。



【お申込方法】 以下の申込表に必要事項を記入いただき、メール又はFAXでお申込みください。

(お申し込みの締め切り日:**平成27年2月20日(金)**)

フリガナ		都道府県名	都道府県	市町村名	市区町村
氏名		所属			
連絡先	電話番号:		メールアドレス:		

ほか()人

- *メールでお申し込み方は「セミナー名、氏名(フリガナ)・都道府県名・市区町村名・所属」をご記入いただき送信下さい。
- * 今回いただきました参加者の個人情報は当事業の運営以外には使用いたしません。

【 お申し込み・お問い合わせ先 】

(一財) 都市農山漁村交流活性化機構(愛称:まちむら交流きこう)

TEL: 03 (4335) 1987 担当 花垣、茅原、吉岡

~ プログラム ~

【午前の部】 開催テーマ:子ども農山漁村交流プロジェクト受入組織の課題と解決の方向性

10:30 開会挨拶

10:35 【事例発表】受入組織における課題とその解決に向けた取組

(60分) (一社)みなかみ町体験旅行(群馬県みなかみ町)

常務理事 北山 郁人 氏

三方よし!近江日野田舎体験推進協議会(滋賀県日野町)

日野町商工観光課 専門員 福本 修一 氏

11:35 【まとめ】受入組織の課題から見えてくる今後の方向性

(20分) (一社)全国農協観光協会 子ども交流プロジェクト事務局長 出口 高靖 氏

11:55 午前の部 終了

【午後の部】 開催テーマ:学校と農山漁村の協働による宿泊体験活動の可能性

13:15 4省による施策の紹介 総務省、文部科学省、農林水産省、環境省

(20分)

13:35 【特別講演】

(60分) 「現代の子どもに欠けるもの ~遊びを通じて、逞しい子どもに育てる~」

千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 氏

■専門は教育社会学。文部科学省中央 教育審議会委員、同省中央教育審議会 生涯学習分科会会長、中央教育審議会 スポーツ・青少年分科会委員等を務 め、現代社会において子ども・教師の 研究に精力的に取り組んでいる。



15:35 休憩

(10分)

14:45 【事例発表:小学校との協働1】

(20分) 「ふるさとに学び、ふるさとを学ぼう!"地域内の農家に泊まる体験活動"」

胎内市立中条小学校教諭(新潟県胎内市)

池田 裕之 氏

15:05 【事例発表:小学校との協働2】

(20分) 「子供たちと一緒に地域を創る!うらほろスタイルふるさとづくり計画」

うらほろスタイル推進地域協議会(北海道浦幌町) 近江 正隆 氏

15:25 【パネルディスカッション】

(65分) 「子供たちのために!農山漁村の未来のために!

学校と地域との協働による農山漁村での宿泊体験活動の可能性」

●パネリスト

池田 裕之 氏 胎内市立中条小学校教諭 (新潟県胎内市)

近江 正隆 氏 うらほろスタイル推進地域協議会(北海道浦幌町)

出口 高靖 氏 (一社)全国農協観光協会 子ども交流プロジェクト事務局長

●コーディネーター

花垣 紀之 氏 (一財)都市農山漁村交流活性化機構次長

16:30 閉会